



## 「ひと」は“人”，「やま」は“山”

中国語はとてもやさしいと思えるときがある。例えば「ひと」は“人” rén だし、「やま」は“山” shān, 「て」は“手” shǒu だ。発音はともかく，漢字は同じだ。ほかにも「さけ」は“酒” jiǔ だし、「お茶」は“茶” chá だ。

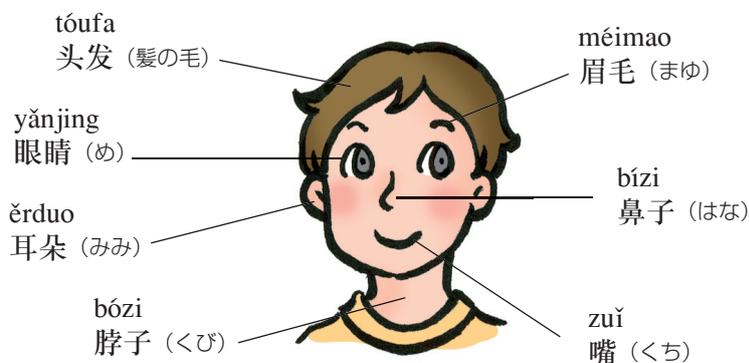
ただ，こういう例ばかりみていると，日本の漢字をそのまま書けば通じると誤ってしまう。しかし，そう簡単ではない。

## 「月」は“月”ではない

空にぽっかり浮かぶ月は，中国語では“月” yuè ではなく“月亮” yuèliang と言わねばならない。正式には“月球” yuèqiú と言うが，まあ普段のお喋りでは“月亮” yuèliang だ。後ろに“亮”がつく。

同じように「石」は単に“石” shí ではダメで“石头” shítou という。今度は“头”がつく。話しことばで，聞いて分かってもらうには，このように2音節にして言うことが多いのである。

ヒトの顔の部位もこういう例が多い。「目」は何と言うか。「耳」はどう言うか。「鼻」は，「口」は？ みんなよく使うものだけに覚えておきたい。



## 「くち」は“嘴”だが，ときには“口”とも

「目」は“眼睛” yǎnjing という。しかし“目” mù はまったく使われないのでもない。“过目” guò mù といえば「目を通す」ことだし，“目瞪口呆” mù dēng kǒu dāi は「びっくりして目を見開き口をぽかんとあけるさま」だ。この成語では「くち」は“嘴” zuǐ ではなく“口” kǒu が使われている。

漢字だけで表される中国語は，なかなか奥が深い。